授業アップデート　【記入例】

氏名〔　　〕

校内研究の主題	自ら学び、考えを伝え合う児童の育成 ～児童の思考の流れを軸にした授業づくりを通して～
目指す児童生徒の姿	・めあてをもって学習する姿　・書くことが好きな姿 ・よく考えて説明できる姿　・自分から学ぼうとする姿
「共通実践」の方向性や内容	・児童の実態に即した課題設定・児童の学びの姿を的確に評価できる評価基準の作成

＊「共通実践」の方向性や内容を踏まえ、自分の授業の強みや課題を記入します。
＊校内研究を進める中で、記述内容が変化した場合は、日付を付けて追記します。

授業に関する自分の強み・課題
強み　１時間の学習の足跡が分かる板書　　ＩＣＴの活用→導入時の1人1台端末の有効活用(10/13)
課題　話しすぎてしまう。　　児童の疑問やつぶやきから授業を展開していくこと。(６/16)

日付	校内研究 授業実践	自分のめあて	学んだこと (児童生徒の様子・新たな知見など)	具体的に取り組むこと (時・場・方法など)	自己評価 (成果・進捗状況など)
4/14	校内研究会①	・本校の研究主 メ ・指 が分かった。	・「読み解く力」を育む授 業 授 ・ が	・児童の意識の流れを大切 に 組 業 た い。	・発問や学習課題について よ た。 に 診 自分 の る。
5/26	授業研究会① ２年生の 授業研究会	・本時 ねらい にせま 発問	・学びの足跡が分かる掲示物が有効だと分かった。 で、評価や発問、展開が変	・児童が「やりたい」「考えたい」と思えるような課 ・既習の学習との関連や今	・学級の児童に ってより身近な課題や問 にするよ ・単元の系統性を確認するようになった。 について の感覚を豊か る具体 作成する。
6/16	授業研究会② 特別支援学級 の授業研究会	生かせる支援の方法	が一目で分かるように示されているので、児童が安心して学習に取り組めていた。 ・児童の考えを基にした授業展開にすることが大切である。	示物をつくる。 ・ゲーム性を取り入れながら、「やりたくなる」場面をつくる。 ・発問や指示、板書など、無駄を省いて、シンプルにする。	国語 な学習で、単元計 書 作って掲示した。 ・できるだ 自分の話す時間・言葉を短くするようにしている。
7/20	授業づくり委員会	・児童の意識の流れと手立てを大切にした授業	・学習内容の系統性 ・単元を通してどのような力を付けたいかを明確にすることが大事だと分かった。	・「学習指導要領」や「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に単元を構想する。	・これまでは曖昧なこともあったが、単元や本時で何がどのようにできればよいのかを明確にして授業を考えるようになった。
8/18	夏季校内研究会	・調査問題や結果の分析から、日々の授業で大切にするべきこと	・児童になったつもりで解くことで、つまずき・指導する内容・手立て・適応問題・授業の流れがイメージできた。	・児童が解き方の説明をする学習活動を授業の中に取り入れる。	・説明をする学習活動を取り入れるためには、学習課題や発問をもっと吟味する必要がある。
9/29	授業研究会③ ４年生の 授業研究会	・考えてみたくなる導入の工夫 ・ＩＣＴの効果的な活用	・児童のつぶやきを拾うことで、本時で目指している「自分なりに更に考える姿」に迫ることができた。	・児童が困るであろうことを予想して、手立てを考えておく。 ・児童の考えを映して全体で共有したい。	・児童のノートの写真を撮り、学級全体に紹介することを算数の学習でしている。他の教科の学習でも使えそうだ。

めあてをもつ → 学　ぶ → 学んだことを生かす(実践する) → 振り返る

全ての教職員がこのサイクルを意識して取り組んでいけるように、校内研究会等で定期的に記入する時間を設定します。
ファイリングして職員室に設置したり、校内サーバ等を用いて共有したりすることで、学びが更に深まります。

今年度の取組を振り返って(児童生徒の変容・自分の学びや変容など)